

ほほえみ

Vol.54

平成25年秋号

発行日：平成25年9月1日
編集責任者：田利 晶
編集・発行：広島赤十字・原爆病院 広報委員会
広島市中区千田町1丁目9番6号 ☎082-241-3111 (代表)
<http://www.hiroshima-med.jrc.or.jp>

理念

人道・博愛の赤十字精神のもと、人々に愛され信頼される病院を目指します。

基本方針

- ・安全・確実な医療を提供します。
- ・常に研鑽を行い、質の高い医療・看護に努めます。
- ・人権を尊重し、説明と同意に基づいた医療を行います。
- ・適切な連携を図り、地域医療に貢献します。
- ・積極的な災害救護活動を行います。

患者の権利に関する宣言

- ①個人の尊厳を尊重します。
- ②最善の医療を受ける権利を尊重します。
- ③医療に関して知る権利を尊重します。
- ④プライバシーが守られる権利を尊重します。
- ⑤治療等について自分で決定する権利を尊重します。

職員の行動指針

- ①プライバシーを守り、人権を尊重します。
- ②迅速で思いやりのある対応を心がけます。
- ③常にわかりやすい言葉で説明します。
- ④同意に基づき、適切な医療を行います。
- ⑤医療人として、日々研鑽に努めます。

特集 ～乳がんの症状～乳がんは自分で発見できる唯一のがんです!

絆(きずな)

ほほえみ広場

【表紙写真】世界の風景シリーズ

コッレ・サンタ・ルチア(イタリア)

コッレ・サンタ・ルチア(Colle Santa Lucia)があるドロミティ(Dolomiti)は、イタリアの東アルプスに属する山群で、北はリエッツァ川から西はイザルコ川とアディジェ川南はブレンタ川東はピアールヴェッ川に囲まれた範囲です。



絆(きずな)

私たちは、地域の先生方と一緒に患者さんの健康を守っています。
このコーナーでは、日々当院と交流のある地域の先生方を紹介します。

小池消化器科外科内科医院

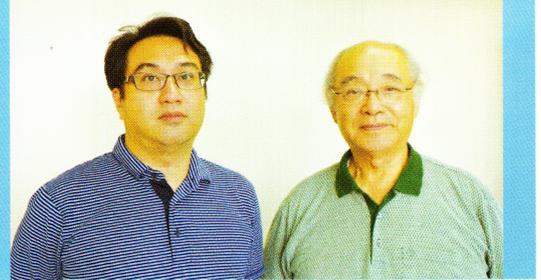
理事長／小池 彰久 院長／小池 貴志

住所／広島市西区草津新町1丁目17-19

TEL／082-278-1151

診療科／消化器科、肛門科、外科、内科、胃腸科

休診日／土曜日午後・日曜日・祝祭日



日赤病院で一番お世話になっているのはおそらく私の医院でしょう。年間約200人の患者を紹介し面倒を見てもらっております。20数年前、由茅外科部長ゆかやとお会いして以来のおつきあいです。石田院長以下外科の先生方と全科にお世話になっております。私は32年前京都から広島へ帰って5年後に開業医となり今年で28年目になります。私の医院は消化器科外科内科ですが、開腹術は開業当時数例のみで、入院は肛門疾患が主です。広島へ帰って約6,000例の肛門手術をしております。外来は年間約2,500例の超音波検査と胃大腸内視鏡検査を約3,000例やっており毎年約50例の癌を見つけております。癌の60%は大腸癌20%が胃癌です。甲状腺癌が多い年で10例、乳癌が4例、

膀胱癌は開業以来11例ありました。又、当院では漢方薬も使用しており、開業時より100処方を使っております。今年6月より長男が千葉より帰って来て、内視鏡の80%をやってくれます。胃大腸内視鏡は12本、洗浄機も2台あり、1日30例までの内視鏡検査は可能です。私も75歳を過ぎて、気力は若い時と変わりませんが、さすがに疲れを感じるようになりました。少しずつ息子に譲っていくつもりです。私の趣味は海釣りや珍しい植物。特に外国のイチジクが自宅と医院の屋上に約50鉢あります。親子共々日赤の先生方にお助けいただいて癌の発見を続けていくつもりですので、どうかよろしく願い申し上げます。

土井内科神経内科クリニック

院長／土井 一可

住所／広島市中区紙屋町1-1-17

TEL／082-242-7878

診療科／内科、神経内科

休診日／日曜日・祝祭日



◎貴院の特徴を教えてください。

神経内科としての専門性を持ちつつ、よろず相談所、ホームドクターとして幅広い診療をしています。

◎診察時に心がけていることは

限られた時間の中で正しい診断をすること。それから、こちらに頼って来ていただいたからには、患者さんが将来に希望を持てるように、という気持ちで診察しています。

一人ひとりをできるだけ丁寧に診て、患者さんに満足して帰ってほしいです。

◎開業医としての想いを教えてください。

一人の患者さんに対して、診察、予後の予測をし、できる範囲で将来にわたって経過を見守ることが開業医の責任・責務であり、また、メリットであると思っています。

◎当院との連携について

以前、日赤病院に5年間いたので、その時の人脈を生かしています。

専門のスタッフがたくさんいますから、一人で患者さんを診るのではなく、病院のスタッフ全員を味方にして、一緒に患者さんを診ていると思っています。少しでも患者さんのためになるなら、協力していきたいです。